

特別会計

国民健康保険

平成六年度において、歳出面では主なものとして（対前年度当初予算比）総務費及び保険給付費を併せて一・一％の増、又算定の基礎となる老人医療費の伸びが前々年において急増したのに伴い、老人保健拠出金が二七・六％の増額となり、全体で七・五％の伸びになりました。

歳入面では、一般会計より人件費事務費及び助産費並びに財政安定化支援事業等の繰入金、

又二千万円の繰越金を見込んで保険税の伸びを七・四％にとどめる努力を行い、平成六年度歳入歳出総額五億八、〇三六万一千円とし、今後一層国保の健全財政保持のため努力を重ねていきます。

尚、五年度同様に保険税負担の低所得層救済目的の保険基金安定制度では、国が九％、県が四、残りを町が負担し、一般会計より合計で八四八万二千円を繰り入れるものとなりました。

老人保健

平成六年度の老人保健特別会計の医療諸費の総額は、一〇億一六二四万八千円となり、前年度に比べ二・一％の増額となりました。

この会計の医療費負担割合は、入院・外来・調剤等については、支払基金が七〇％、国が二〇％、県及び町がそれぞれ五％を負担し、施設療養費や老人訪問看護療養費については、支払基金が四、国が四、県と町がそれぞれ一

用負担することになっています。



国民健康保険

〈歳入〉 580,361千円

国民健康保険税	250,124千円	国庫支出金	182,612千円
療養給付費交付金	84,844千円	繰入金	37,097千円
繰越金	20,000千円	共同事業の交付金	4,061千円
その他	1,623千円		

〈歳出〉 580,361千円

保険給付費	367,894千円	老人保健拠出金	165,896千円
総務費	26,736千円		
共同事業の拠出金	4,062千円		
その他	15,773千円		

老人保健

〈歳入〉 1,018,703千円

支払基金交付金	705,456千円	国庫支出金	207,315千円
繰入金	54,126千円		
県支出金	51,799千円		
その他	7千円		

〈歳出〉 1,018,703千円

医療諸費	1,016,248千円	総務費	1,951千円
		公債の費	500千円
		その他	4千円

ガス

〈事業収益〉 269,759千円

ガス売上	257,289千円	営業雑収益	11,220千円
		営業外収益	1,220千円
		特別利益	30千円

〈事業費用〉 261,683千円

営業費用	232,697千円	営業雑費用	10,122千円
		営業外費用	18,834千円
		特別損失	30千円

水道

〈事業収益〉 190,399千円

営業収益	186,459千円	営業外収益	3,910千円
		特別利益	30千円

〈事業費用〉 186,772千円

営業費用	132,060千円	営業外費用	54,682千円
		特別損失	30千円

下水道

〈歳入〉 819,470千円

町債	350,500千円	国庫・県支出金	157,700千円	繰入金	214,400千円
		使用手数料	47,016千円		
		その他	49,854千円		

〈歳出〉 819,470千円

下水道事業費	476,211千円	公債費	264,807千円	総務予備費	78,352千円
				費	100千円

ガス

収益的収入では二億六、九七五万九千円、同支出では二億六、一六八万三千円を計上しました。

収益的支出では、減価償却費減で、二八五万一千円・マイコンメーカー購入費一九八万八千円が増となりましたが、差引き八〇七万六千円の純利益を計上することができました。

資本的支出では総額一億四六八万四千円を計上しました。主な事業としては、ガスの布設

水道

替工事と公共下水道工事に伴うガスの支障移設工事として七、一八〇万円を計上しました。

収益的収入は一億九、〇三九万九千円となり、同支出では一億八、六七七万二千円を計上しました。

支出では経常経費の増と減価償却費三、六二九万九千円、企業債利息五、四五五万七千円を計上しました。

資本的支出では、配水管整備

下水道

事業二、七一一万円・老朽管更新事業五、四〇三万九千円、フロキュレーター改良工事二、四〇〇万円、その他公共下水道工事に伴う水道管支障移設工事費ほか、企業債償還金二、七六五万五千円を計上した結果、総額では一億七、七四九万一千円となっています。

平成六年度の下水道事業は、小須戸第一分區(矢代田地区)の一部供用開始をし、併せて幹線

管渠工事の実施予定です。

公共下水道事業費は、前年度同額の三億八〇〇万円、単独事業費も、前年度同額の一億五、一七〇万円を計上しました。

その他では、流域下水道建設負担金で八八三万九千円、公債費で元金七、三五八万七千円、利息で一億九、一二二万円を計上しました。

それらについての財源は、国庫補助金で一億五、四〇〇万円、県補助金三七〇万円、町債では、工事費分二億五、四五〇万円、

未稼働資産分(資本費平準化債)

九、五〇〇万円、流域下水道費一〇〇万円を計上しました。

その他では、小須戸第一分區(矢代田地区)の受益者負担金一、〇五八万六千円、下水道使用料で四、七〇一万四千円を計上し、一般会計からの繰入金二億一、四四〇万円をもって、歳入歳出で、対前年度比〇・七％増の八億一、九四七万七千円となりました。